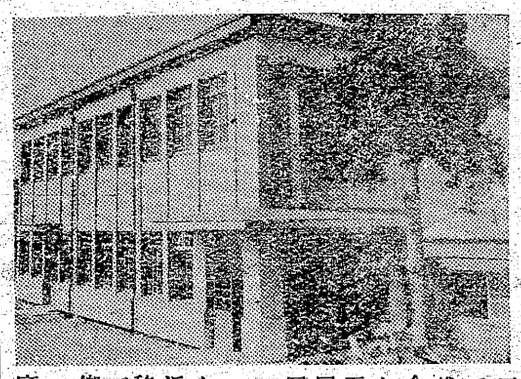
磐城毎日新聞　昭和25年(1950) 9月12日（火曜日）第95号【日刊・月曜休刊】
可認物郵便種第三種郵便物　昭和25年7月6日　(一)

磐城毎日
衛兵町南新開　大和田與平　社長
發行所　磐城毎日新聞社
印刷兼發行人　遠藤孝倫
編集會社　電話(平)一二〇番

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　強口唯七郎
平市小太郎町
電話苅・八二・二〇三四番

施設の改善につくす
關谷次官　旅客輸送狀態視察

平驛北口跨線橋設置及び磐に次ぐ東北では第三いの旅客並に貨物の取扱を有する越東線客車の改善實情調査のため九日夜來平した關谷運輸政務次官、高木法務次官松波運輸省事務官水戸鐵道管理部事務官の一行は十日市役所に於て鈴木市長初め各關係方面と種々懇談先に鈴木市長から陳情の平驛北口跨線橋設置等について詳細に説明を求めた上、平驛の實情を視察した、岡谷運輸政務次官は詳細な實狀視察の後「平は仙台、青森



（寫眞は平驛朝の混雜狀況を視察する一行×印左が高木次官右が岡谷次官）

新廳舍の落成式
四ツ倉町で十五日擧行

四ツ倉町役場の新築は百五月以來磐城工業株式會社の十坪工費二百五十万円で五手により現、小學校裏に着工阜期完成を期してゐたが和洋折ちゆうのモダンな廳舍がこのほど完成した、落成式は十五日午前十時から同所で盛大に行ふ同町役場は現在四ツ倉小學校講堂の一部を使用、不便をしのいでいたが近日中に新廳舍に移轉する、なおモダンな廳舍は近郷にはめづらしい（寫眞は完成した廳舍）

小名濱高校縣へ移管

小名濱町立高等學校は施設その他内容充實を期するため縣立校への移管について折衝を重ねてゐたが正式移管の内定を得たので、その費用八百円万円、負擔金を調達するため關係者が運動を展開してゐる

町村稅務研究會

石城地方事務所では十一日午前十時から町村役場の稅務關係者を參集して町村稅務研究會を開いた

種牡豚の檢査施行

石城地方事務所では管内の種牡豚で未だ檢査を受けず飼育して居る向があるため豚の改良增殖に及ぼす影響が大であるばかりでなくつ

情婦と宿錢踏倒し
相携えて刑務所參り

河沼郡堂島生れ無職伊藤榮門に歩き廻つて居り余罪も喜(三八)同人情婦川又フジ(三相當あるものと見られる五)の両人は二日から九日まで江名町國本鑛泉旅館伊藤ハマ方に投宿、宿料一千八百七十五円を踏たおし十日江名署に逮捕されたが、十一日両人仲良く送檢されたなお伊藤は郡山、若松方面で加藤利夫なる偽名を用えて旅館宿泊料の踏たふし專

日食觀測に
學生へ望遠鏡

來る十二日は四年振りの日食倉で平驛前壽百貨店理科教材販賣店では磐高生の應援で行き前道路に百三十三倍大根葉の天体望遠鏡を据え付け市

小名浜通信

警察が二本建となつて足かけ三年、國警は別として自治警察署では、云はば公署と私署、公人と私人の様な治警察だと考へたのが大なる誤解。

共同募金一日から
石城郡割當百八十万円

石城地方事務所では十四日開催豫定の關工學博士の照午前十時から共同募金委員會並に明普及會並にモデル商店會支部會を開き廿五年度の共同募金の町村別決定額並に募金啓發宣傳方針について協議する、共同募金の實施は來月一日から末日迄で福島縣の目標額は一千五百万円で、その内一百七十九万四千円が石城郡の目標決定額となつてゐる

照明普及講演會中止

（既報）十二日午後一時より

感謝狀贈呈
木田一郎氏へ

十一日鈴木平市長から市内下平窪字鍛治内農業木田一郎氏に對し記念品と感謝狀を贈呈した、木田氏は平市第四小學校庭擴張に際し自家所有水田一反八畝三分を學校用地として無償寄付を申出てたものでその篤志行爲は賞讃されてゐたもの

敗戰五年雜感

敗戰後五年、敗戰當時の實せん後五年、誠に多難な年め一部右翼政治家達は鬼の月であつた、國外情勢も猫首でもとつたように喜んだとすればこれはお門違いの大違いのコンコ【チキだ、

印鑑僞造して積立金橫領

【鮮魚】十一日現在　卸値(單位貫)

かつを	二〇〇―一八〇円	四〇〇円
かれひ	五〇〇円	
すゞき	一三〇円	
いか	一五〇円	
たこ	二〇〇円	
かながしら	二五〇円	
さんま	二〇〇円	
さつまあげ「上物」	二五〇円	

同並物　一八〇―一五〇円
市況人氣なし、さんまは今年初めての入荷で鹽釜より七〇〇貫

【青果市況】丸ヤ市場

きうり	三〇―一五円
なす	二五―一〇円
ねぎ	七―三円
ごぼう	六〇―四〇円
	一四〇―一〇〇円
	二〇〇―一五〇円
人參	四〇―二〇円
大根葉	一円五十錢

商狀、經濟欄

【株式市況】磐城證券　11日現在

對日講和の接近及名義書替を强制せずこの好材料もひびかず台風接近を氣づかつて賣買共に閑散を極め一六〇万株の賣買高に止まり全然見送り人氣に終始した

銅管	七	呉羽化
東洋紡	二〇七	苦小牧
鐘紡	一四五	十紙本
日清紡	三〇三	本州紙
呉羽紡	三一	日セメ
日東紡	一二三	磐城セ
片倉	空五	小野田
帝人	一六三	不動新
東洋レ	一四一	陽和不
新光レ	三〇三	開東不
山バル	三九	三起
東海上	三四	日麥酒
新郵船	一七三	朝麥酒
三井船	三一〇	キリン
日發	三六	寶酒造
三井山	四七	野田醬
日石	公三	豊年油
三井造	一七三	高壓
日立	三七	日産化
東北パ	三三	日活

天氣予報

（十一日午後四時半）
今日は東南の風稍々强く晴

ラジオ
ローカル

郡山放送　十二日
後六時三十分　河童の眼第二夜　郡山放送劇團
後七時三十分　歌の花籠(小一)日東ぼう綾郡山第一工場より中繼　司會者小川アナウンサーとなつている

運動用品……特賣

○ライン引器(幣店特許品)
○バトン
○ピストルと紙雷管
○引　網　三十米
○ゴール　ハイ　鐵製移動式
○赤白　ボーシ　ハチ巻
○ドツチボール類
外何んでも豊富、御用命を
平驛前通り
大塚運動具店
電話七十七番

所得稅の予定申告書だけ出して未だ納稅してない方は利子が嵩んで來るから一日も早く納稅を濟ませて下さい
平稅務署

昭和25年(1950)9月12日　(火曜日)　第95号　磐城毎日新聞　定価1ヶ月50円　一部賣二円　第三種郵便物認可　(二)

出續も錄記新

會大技競上水等中

平、石城中學十六鮎で內鄕二中を十一點引放し前年に引續き優勝を遂げた、また全選手の力泳鄕二中)58秒の三大會新記錄を樹立した

▼…決　勝…▲

●男子の部　△百米背泳

一位長谷川喜一(四中)1分33秒8二位橋本(赤一)三位菅野一郎(內二)34秒4　二位中島(赤一)三位渡邊秒8＝大會新、二位大木(四中)三位鹽(內二)△百米平泳一位高田政男3分17秒8二位鈴木(同)三位佐藤(內二)△五十米平泳一位長谷川喜一(四中)43秒4二位神保(內二)三位佐々木(內二)△二百米自由型一位內二中(鹽)二百米自由型一位篠原道按(內二)3分26秒9二位渡邊(內二)△二百米リトー一位四倉中(篠原、關根、鈴木、高木)2分55秒6二位內鄕一中、三位小名濱中

●總合得點　一位四倉中一四六點、二位內鄕二中一三五點、三位赤井一中三五點、四位小名濱中三三點、五位平一中二六點

列車を飛びおりて逃走

追跡して逮捕、取調中

十日午前十一時三十分頃常盤線下り列車が內鄕地內傾城山隧道に差懸つた際時速三十キロの列車から飛降りた青年があつた、折柄信号機妨害事件で附近を調査中の矢口、川又兩公安官が職務訊問をするとすきを見て逃走した取おさへて調べた結果長崎縣佐世保市大黑町生れ住所不定船員新岡正美(二二)と稱し左ズボンの中に双渡り三十五糎の兇きを所持してゐる事から以外に大物ではないかと余罪取調中

三島八幡大祭

十二日から

平市北白土の三島神社祭例は十二、十三日兩日行はれるが今年は平市と合併後初の祭典であり例年に增して

町村對抗柔道大會

一位勿來A組、個人豊田君

盛大に行ふ、十二日の宵祭例により鎌田町から本町通りは夕刻から打ち揚げ花火を子勉倉神社に至り南町から新川町を經て谷川瀨、同部落特有の青年會員による獅子舞の奉納があり、十三日の本祭りには神輿渡御が行はれ正午神社出發、恒例

清掃の完全賞揚

郡PTA協議會で

九日午前九時より石城郡下各學校PTA會關係者三百余名はモデル校小名濱第一校に參集、PTA會の運營研究と協議會を開いた、協議終了後兒童の學藝會觀賞散會したが學校內殊に便所等の清掃狀態は郡內隨一と稱され保健所小名濱分室でも激稱してゐる

暴風來て船足止る

鮮魚不足市場四割高値

平市新川町日雇門馬忠喜(三六)は二十一年八月に小名濱何れも避難すべく鹽釜港より以上の値上を見せマコ大町內燃機會社から和文タイプライター一台時價二万五千圓相當、二十二年十月同

タイプライター

窃盜犯檢擧

小名濱漁場水揚狀況は測候總數三千貫の水揚なるも時所が警戒警報の爲め漁船は化と見込んで昨日より四ワ

住宅貸金申込

殺到　小名浜

住宅公庫第二回貸し付けが申込者全部への貸し出し通知から人氣を呼んだ小名濱第一の家の持ない人々は第三回目申込みには既に四百余名が殺到して取扱店では書類の整理に忙殺されてゐる

母親學校

內鄕町御厩小學校の母

親學校は九月の定例授業を十三日午後一時より全校において「家庭教育一般について」と題して高木敎委社會敎育專門職員が講義を擔當する、生徒數は四十名である

タカる興太地

區署で擧げる

石城郡赤井村大字赤井字不動堂無職橘榮吉(二〇)は六月中旬同村赤井子新町地內坂田商店前で同村居住の長塚務(二三)同竹內敏夫(二三)の兩名に金をかせとおどかし兩名から二百圓づつを喝取したのか判明、十日平地區署に檢擧された

救濟事業を

小名浜で着手

小名川の河川改修工事は十剩と判明して隔

×

平市北白銀町四〇敎員管原河好間2—0吳羽化學、日本水素2—0大日本勿來鑛

戰續は次の通り

△一回戰　古河好間2—0常磐湯本、日本水素2—0片倉製絲、大日本勿來鑛—原ぼう(棄權)△二回戰　古本水素2—0大日本勿來鑛

信號機電線

少年らの窃盜

十日午前六時から八時三十分までの間に常磐線湯本—綴間の鐵道信号機連絡線七十本、時下一千円相當が盜まれた、平鐵道公安室では矢口、川又の兩公安官が現場に急行、內鄕署と協力、犯人捜探中、犯人は十五才いの子供で切斷後同地內傾城山に逃げ込んだと言われる

重役の靴失敬

列車內で

宮城縣鮎川町日本近海捕鯨會社取締役吉村重彥(五〇)氏

煙にまかれた美人

防空豪から內鄕署救ふ

東京都淺草中山道子(三三)さ中平驛で男に煙に巻かれ韜ると云ふ高値を示して二女照子さんは十一日似赤

東京都淺草中山道子(三三)さんは內鄕町白水地內の防空壕內に半死半生でゐるのを喰ふや喰わずに防空壕に身十日朝內鄕署に保護された問題の美人道子さんは昭和二十年三月戰災で親兄弟を失い、獨り上野の地下道生活を續けてゐたが十日程前に仙台生れだと言ふ男と知り合い仙台の家に歸つて働かうと言ふ男を信じ一週間利男(三〇)氏埼玉縣北企郡平で仙台へ歸る途村村井しず(三二)さん

タイプライター

窃盜犯檢擧

平市新川町日雇門馬忠喜(三六)は二十一年八月に小名濱何れも避難すべく鹽釜港より以上の値上を見せマコ大町內燃機會社から和文タイプライター一台時價二万五千圓相當、二十二年十月同

赤痢二名發生

婚姻

二日平市紺屋町志賀

小名浜名産
皆川の……うにパン
製粉…製麵は一番定評ある皆川へ
皆川食品工業所
小名浜町電三一四

平市南町（小松屋旅館隣）電478
鈴木歯科醫院
鈴一郎　與木

季節の味
乾めん　うゝめん　冷むぎ　素めん
◆…委託加工は是非當店へ…◆
永島製麵所
工場 平市杉野澤 電1094番　出張所 平市田町

11日より14日まで
（上映中）
ラヂオでお馴染の人氣者勢揃ひ
新東寶の獨占卒倒大喜劇！
向三軒兩隣【第三話】
どんぐり歌合戰
キャスト　柳家金語樓　江川宇禮雄　河津清三郎
美空ひばり　野上千鶴子　清川虹子
十五日より十八日迄怪奇映画「吸血婦」
平文化

うどん・きそば・生壽司・ランチ等あちよくもりよく
値もやすい
赤飯でかんたんなお食事
秋田銘酒『高清水』キリンビール　サイダー
地下大衆食堂
（加工外食券）
◇遠近出前迅速◇
平驛前 電話656番

パンと洋菓子
定評あるビスケット
平製パン
平市鍛冶町 電話二一番

静かな離れ座敷で
初秋の氣分を
滿喫下さい
早朝より入浴が出來ます
折詰仕出
割烹
鑛泉
西鳳
平市紺屋町（道白井邸跡）
電350

出生

四日平市新町瀨戸臣平氏長女まき子さん

文藝欄

「秋風に」

秋風のさ中に立ちて
明日を忘れしばし唄いぬ
幼なき歌など

×

さやさやと風の渡れば
なにやらむ
吾が胸うづく此の日頃かな

×

朗讀の巧みな師なり病得て
二年伏すと云う
便りもありし

×

豊年の太鼓かすかに流れくる
秋の夜更の
物想いかな

×

豊かなる菊葡の房を
手にとりて
見凝めて居れば心和めり

×

此處に來てたつきの日々のいささかに落ちつきてありみちのくの秋

×

友はみな一かどの產なしたりと便りにある日
秋の風吹く

×

三日ほど
あてなき旅に出てみんかく願い來て二とせを經ぬ

（安里待巢）